

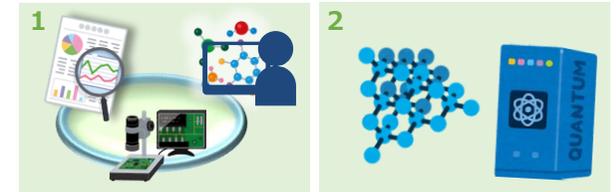
令和4年度 戦略目標・研究開発目標について

- 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)及び日本医療研究開発機構(AMED)では、文部科学省が定める戦略目標等の下、組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、戦略的に基礎研究を推進する「戦略的創造研究推進事業」及び「革新的先端研究開発支援事業」を実施しています。
- この度、文部科学省において、論文動向等の分析の他、有識者へのヒアリング等を通じて、科学的価値や経済・社会的インパクト等、多角的な観点から議論し、戦略目標を策定しました。
- 幅広い分野の研究者の結集と融合により、ポストコロナ時代を見据えた基礎研究を推進します。

我が国の強みを活かした研究基盤の強化

我が国の研究基盤強化に向け、世界最先端の計測・解析技術開発、国際競争が激化している量子分野の研究開発を推進

1. 社会課題解決を志向した計測・解析プロセスの革新(JST)
2. 量子情報と量子物性の融合による革新的量子制御技術の創成(JST)



「総合知」の活用による社会課題の解決

第6期科技イノベ基本計画の下、人文・社会科学と自然科学の融合による「総合知」を活用した研究を推進

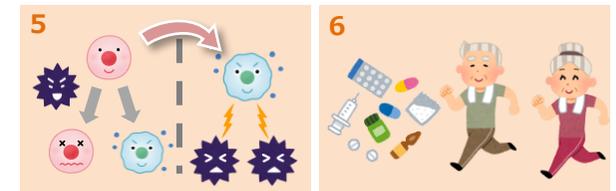
3. 文理融合による社会変革に向けた人・社会解析基盤の創出(JST)
4. 「総合知」で切り拓く物質変換システムによる資源化技術(JST)



将来の健康長寿社会の形成

ポストコロナ社会を見据え、健康寿命延伸を目指した基礎研究を推進

5. 免疫細胞に宿る記憶の理解とその制御に資する医療シーズの創出(AMED)
6. 老化に伴う生体ロバストネスの変容と加齢性疾患の制御に係る機序等の解明(JST・AMED共通の目標として一体的に推進)



※それぞれの戦略目標等について、括弧書きの法人に対して文部科学省から提示。4月以降、JST及びAMEDにおいて公募予定。